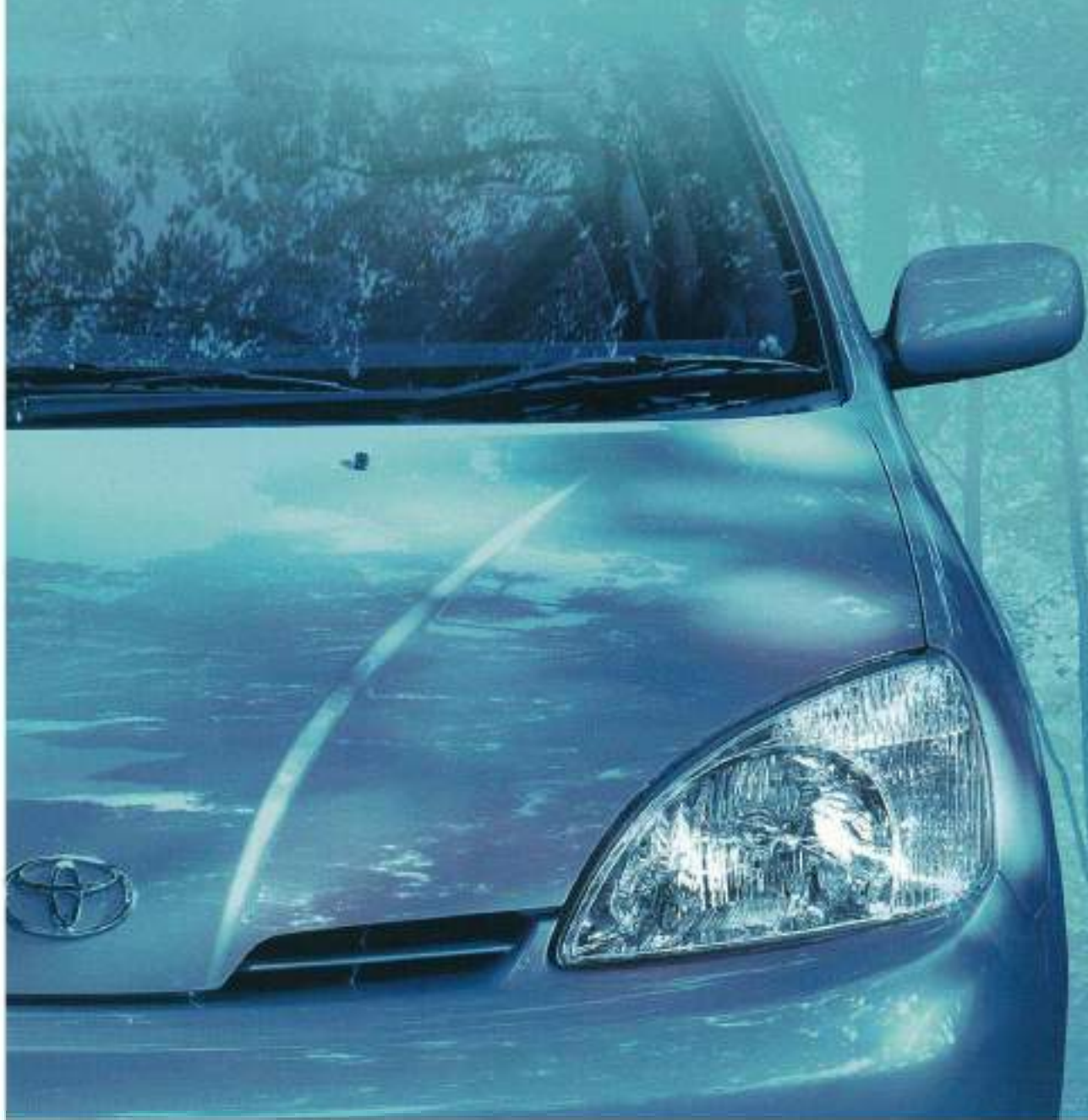
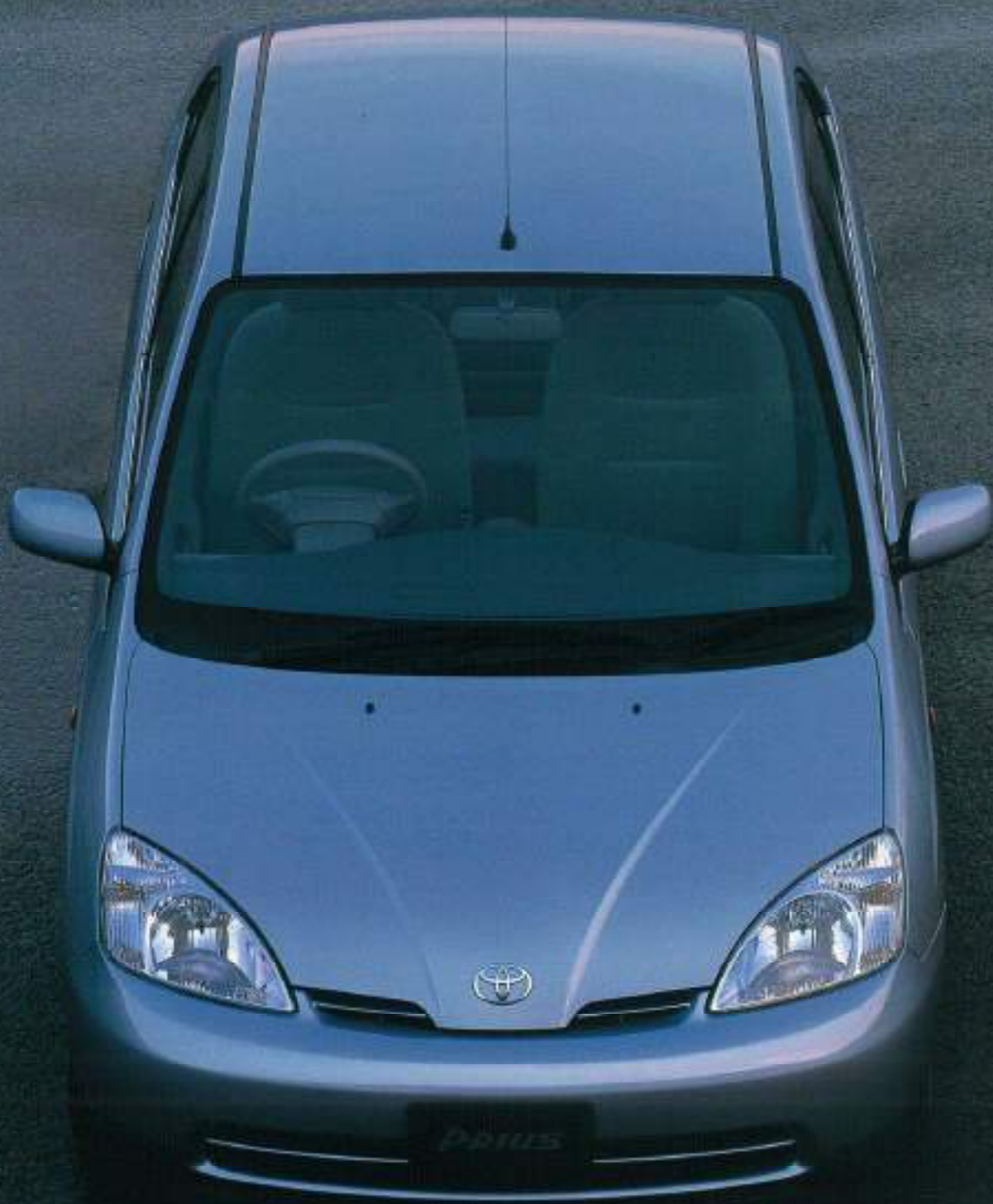


Hybrid Car

PRIUS





クルマの、その先へ。

1997年、1台のクルマが誕生しました。

世界で初めての量産ハイブリッドシステム、未来を志向したデザイン、

そして革新的なパッケージング。

これからの地球環境と、クルマ社会を見据えたコンセプトで幾多の賞を受けた

プリウスは、今、走ることの愉しさと環境への心遣いをさらに深め、

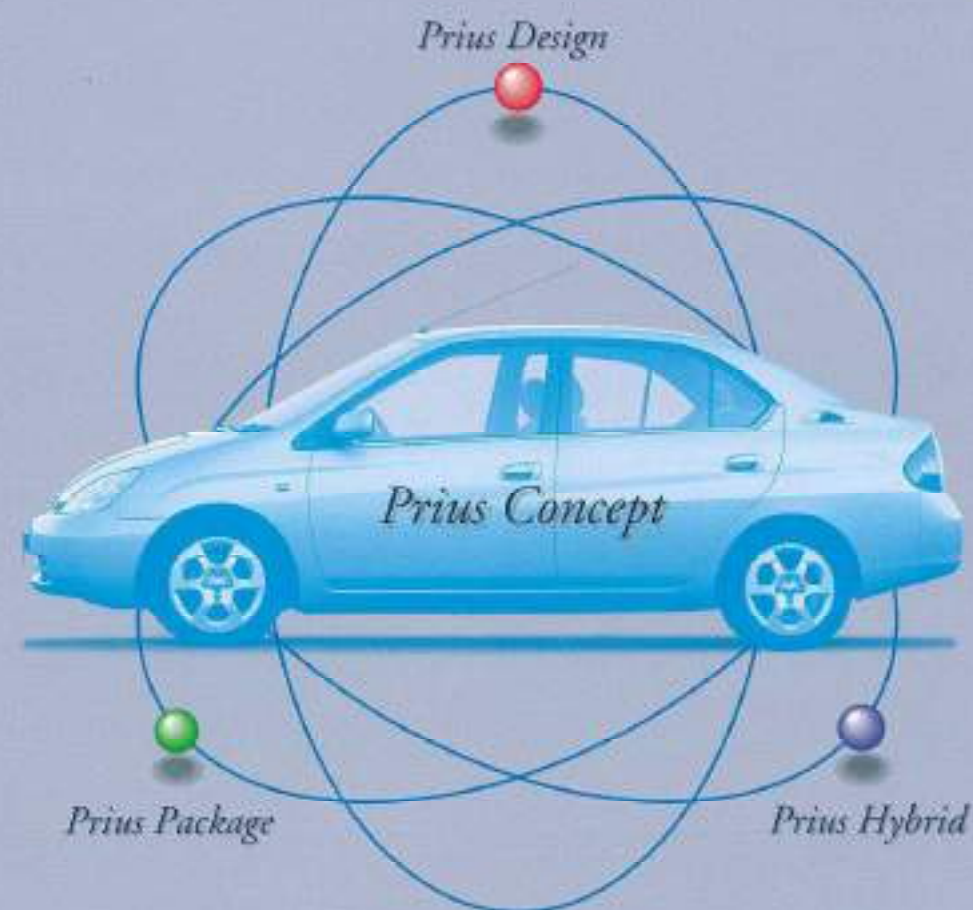
地球の未来を担うクルマとして、遠く北米・欧州の地をも走り始めました。

21世紀にクルマはどこへ向かうのか。

この問いに対して、ひとつの答えを導き出すことができるハイブリッドカー、プリウス。

地球にやさしく接する、深い歓びを教えてくれるクルマとして、

人々の夢を乗せ、羽ばたいています。





PRIUS ECOLOGY

この地球の未来を見つめていく
「スタンダード」として。

プリウスは、地球とクルマ社会の未来に、ひとすじの明るい光を射し込んでいます。
クルマの便利さや楽しさはそのままに、電気でガソリンを使ってムダなく、効率良く走る。
今までのクルマと比べて燃費は約2倍に向上、CO₂の排出量は約半分に。

排出ガス*は平成12年排出ガス規制値の1/4以下にまで削減。
そんなプリウスに乗ることは、これからの地球環境を見つめた
クルマ社会の先端を走ることでもあるのです。

どうぞ、プリウスのドアを開いて、いつもどおりに運転してみてください。
特別な操作や充電の必要はまったくありません。

環境にやさしいうえに「誰もがふつうに運転できるクルマ」であるという点こそ、
このクルマが多くの人々に、好意的に迎えられた理由でもあるのです。

地球と、そこに住む私たちや、これからの人々の将来のために誕生したプリウス。
それは他のクルマよりも、少しだけ先に現れた「未来のスタンダード」なのです。

*窒素酸化物 (NOx) 及び炭化水素 (HC)。

トヨタハイブリッドシステム・レイアウト



PRIUS STYLE

未来への願いを込めた、
スタイリング。

プリウスのスタイリングは、単にデザイン先行で決められたものではありません。これからのクルマ社会を先導していく技術と、限りある室内空間を最大限に活かした革新的なパッケージングを包み込むスタイリングには、クルマ社会の未来に対するトヨタのビジョンや、新たなスピリットが反映されています。それはまた、地球環境のために貢献していこうとする誇り高き志の象徴として形づくられたものでもあります。人へのやさしさ、環境への心くばり、そして21世紀にあるべき自動車の理想像など、ひとつひとつの思いを線や面に託したプリウスのスタイリング。それは未来に対する必然性から生まれ、どんなに時代が移り変わろうとも、決して色あせることのないデザインなのです。

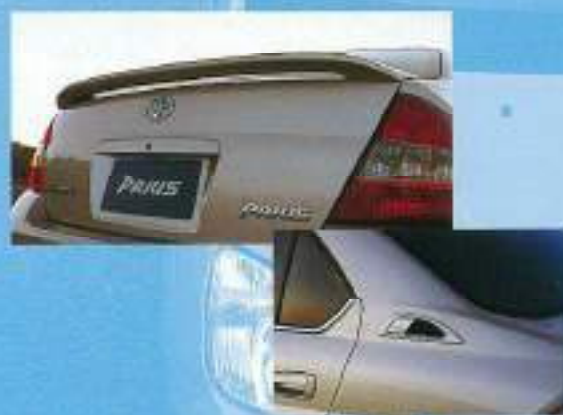


Photo:プリウス α。ボディカラーはシルバームーンメタリックグラファイト(0C5)。

スタイリッシュパッケージ(メーカーオプション)メタリック塗装のイールキヤップ、UVカット機能付ソフトブライハガーラス、リヤスポイラー(メーカーオプション)。

PRIUS HUMANITY

まず、人ありき。
プリウスの起点はここにありました。

プリウスをつくるにあたって、初めに決めたことはヒップポイントの高さ、つまり座る位置。何よりも人の居場所を第一に考えたというこの事実こそ、プリウスが人を優先するクルマであることを物語っています。まず、スムーズに乗り降りができるようヒップポイントを高めたことで、アイポイントも高くなり視界が広がりました。この視界の良さがショートオーバーハングのボディとも相まって、プリウスをとてもし取りまわしの良いクルマにしています。さらに、ロングホイールベースの設計とすることで、ゆったりと過ごせる居住空間も確保。「コンパクトなクルマは室内が狭い」という常識へ挑戦した革新的なパッケージングとして、スモールセダンの世界に大きな足跡を残すことになりました。環境にやさしいだけでなく、人にもやさしいクルマ、プリウス。そのコンパクトなボディの中に、人とクルマの理想的な関係を見ることができます。

プリウスのパッケージング



プリウスの乗降性



プリウスの取りまわしの良さ







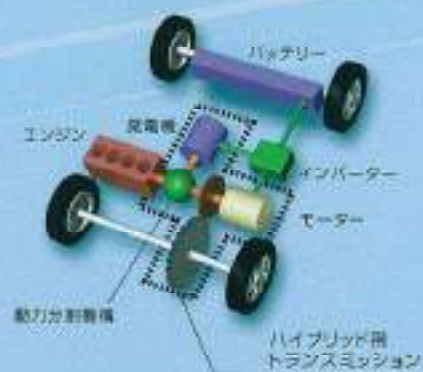


いま、地球に贈ることのできる最善の技術。
トヨタハイブリッドシステムはさらにやさしく、より力強く。

トヨタハイブリッドシステム エンジンの力を最適な配分で車輪の駆動と発電機に分割します。発電した電気はモーターを回して走行をアシスト。さらにバッテリーの充電も行います。エンジンとモーター、2つのパワーを利用することで、高い動力性能を実現しています。

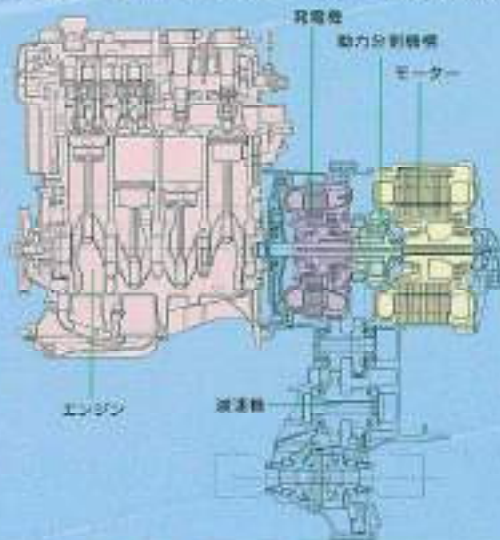
ハイブリッド用トランスミッション

トランスミッションは、動力分割機構、発電機、モーター及び減速機から構成されています。もう一つの動力源となるモーターには、小型・軽量でありながら高効率の交流同期電動機を採用。同じく交流同期型の発電機が、エンジンの回転数を無段階に制御することで、電子制御式の無段変速機として機能します。



ハイブリッド専用1.5Lエンジン BEAMS 1NZ-FXE VVT-i

環境に優しいハイブリッドシステムにあわせて、エンジン自体も①超低燃費②低排出ガス③超軽量④コンパクトであることをめざして開発されました。高膨張比サイクルや可変バルブタイミング機構VVT-iの採用、徹底した摩擦ロスの低減を図って低燃費を追求。クリーン度を高めるため触媒に新開発の超薄壁セラミック担体を用いた他、アルミシリンダーブロックによる軽量化なども実施しました。



ハイブリッド用パワーユニット
(エンジン&トランスミッション)

高出力Ni-MH(ニッケル水素)バッテリー

ハイブリッド車用に新開発した

小型高性能の密閉式ニッケル水素電池を採用。軽量かつ簡素な構造とし、バッテリー全体の体積及び重量を低減させるとともに、バッテリーの性能を示す出力密度、エネルギー密度の向上も実現しています。



ハイブリッドシステム動作モード

● 電気を蓄積します。 ● ガソリンを燃焼します。

● 下記モードは基本的な動作モードを説明したものです。新機能(エコドライブ)の使用状況などにより様々な状態があります。



発進・低速時

エンジン効率が悪い時は、ガソリンを使わずバッテリーの電力でモーターを回して走ります。



通常走行時

エンジンとモーターを使って、最も燃費の良い走りを実現しながら走ります。



全開加速時

バッテリーからの電力をプラスして、力強く滑らかに加速します。



減速・制動時

ブレーキを踏んだり、アクセルを緩めると、自動的に回生発電を行い、バッテリーに電気をためます。



停車時

自動的にエンジンが止まります。アイドリングによるムダな消費電力もなく、CO₂も排出しません。

- 加動時、イグニッションスタートになるとエンジンがかかり、発進後停止します。
- バッテリー充電量が少ない場合、停車してもエンジンの運転は継続され、発電機を駆動してバッテリーを充電します。また、エコドライブスイッチと連動してエンジンがかかる場合があります。

インバーター

バッテリーの直流電流とモーター・発電機駆動用の交流電流とを相互に変換しながら、それぞれに入出力する電流を最適に制御します。最新のパワーエレクトロニクス技術の投入により、小型・軽量化を図りました。



回生ブレーキ&回生油圧ブレーキ

制動時にモーターを発電機として動作させ、車輪の持っている運動エネルギーを電気エネルギーに変換してバッテリーに回収する回生ブレーキシステムを採用しました。加速・減速を繰り返す頻度の高い都市内の交通環境で、特にエネルギー回収の効果を高める特長を持っています。この回生ブレーキによる制動力と従来の油圧ブレーキによる制動力を、エネルギー回収が最も効率的になされるよう、最適な組み合わせでコントロールします。



誕生から使命を全うするその日まで。
エコロジーという道をプリウスは
走り続けます。

トータルクリーンをめざして

トヨタは「トータルクリーン」の理念のもと、「開発・生産・使用・廃棄」のすべての過程で、人と地球にやさしいクルマづくりを進めています。生産分野はもちろん、1998年には設計と開発の各分野において、自動車メーカーとして国内で初めてISO14001^{※1}の認証を取得。このマネジメントシステムに基づき、プリウスはさまざまな角度から環境保全対策を実施しています。
※1 ISO14001 国際標準化機構 (ISO) が1996年9月に制定した環境マネジメントシステム (EMS) の国際規格。環境負荷を継続的に軽減できるシステムを構築した企業、自治体組織などに認証が与えられます。

地球温暖化を防ぐために

燃費向上 温室効果ガスであるCO₂排出量のさらなる低減をめざして徹底した燃費の向上を図っています。トヨタハイブリッドシステムの改善など、パワートレイン系での取り組みの他、床下のフラット化や整流パーツの採用による空気抵抗の低減、ボディの軽量化などにより、燃費の向上を図っています。
省冷媒化 エアコンの冷媒には、オゾン層を破壊しない代替フロンHFC134-aを採用。さらに、地球温暖化への影響を配慮し、冷媒の充填量を低減した省冷媒型エアコンを採用しています。

都市環境のクリーン化のために

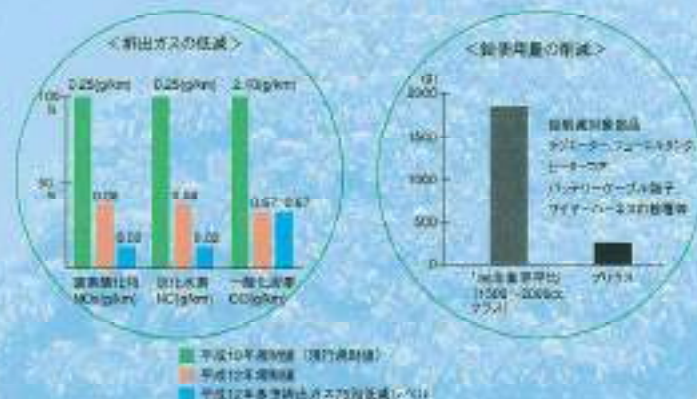
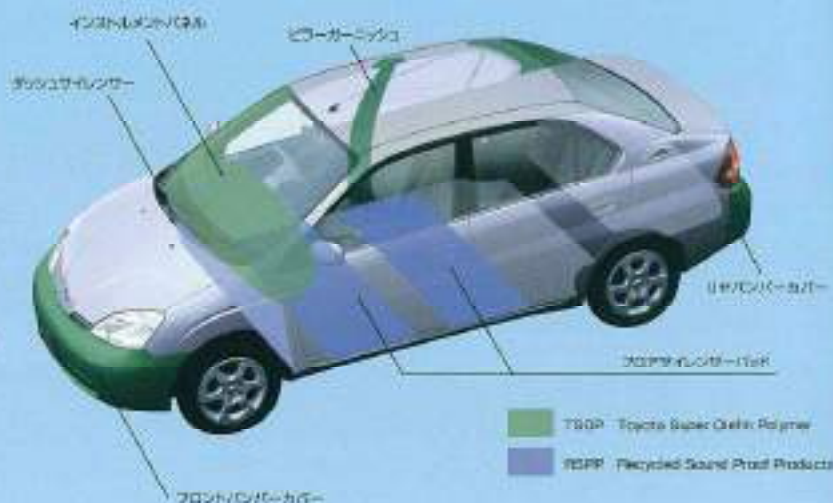
排出ガスのクリーン化 トヨタハイブリッドシステム及び新開発の触媒などにより、特に冷気始動からの浄化能力も高めました。平成12年排出ガス規制値からさらにNOx、HCを1/4以下とした「平成12年基準排出ガス75%低減レベル」をクリア^{※2}しています。

※2 低排出ガス車認定制度 (国土交通省認定制度)。なお、七都府県市公営事業者認定制度 (平成11年4月改正) の排出ガス基準もクリアしています。

リサイクルと環境負荷物質低減のために

リサイクル トヨタは、従来よりリサイクル性にすぐれた熱可塑性樹脂TSOPを内外装部品に積極的に用いてきました。また、使用済み車両のシュレッダーダストから再生した高性能防食材RSPPの採用、樹脂部品における材質識別のためのマーキングの実施、さらには工場敷地内にリサイクルセンターを建設するなど、全社を挙げてリサイクルへの取り組みを強化しています。
環境負荷物質の低減 ラジエーター、フューエルタンク、ヒーターコア、ワイヤーハーネス被覆、バッテリーケーブル端子などから鉛をなくし、車両全体で「新型車の鉛の使用量を2005年末までに1996年比で1/3以下に低減する」という目標^{※3}を早期に達成しています。

※3 経済産業省リサイクルイニシアティブで設定されている業界目標。



トヨタ プリウスの環境仕様

項目	環境仕様	FF (前輪駆動方式)
型式	2A-MY11	
エンジン	1NZ-FXE	
トランスミッション	電子制御式無段変速	
省エネルギー効果	CO ₂ 削減 (エアコン冷媒)	低減せず
省エネルギー効果	HFC134-a (エアコン冷媒) 使用量 (g)	500
省エネルギー効果	CO ₂ 排出量 (10-15モード燃費換算) (g/km)	87
省エネルギー効果	10-15モード走行 (国土交通省認定) (km/l)	28.0
省エネルギー効果	主要燃費向上対策	ハイブリッドシステム、自動燃費最適化、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング
省エネルギー効果	加速走行騒音 (適合値) (dB-A)	70
省エネルギー効果	適合規制又は低排出ガス車認定制度のレベル	平成12年度基準排出ガス75%低減レベル
省エネルギー効果	規制値またはレベル値 (10-15モード走行)	
省エネルギー効果	NOx (g/km)	0.08
省エネルギー効果	HC (g/km)	0.08
省エネルギー効果	CO (g/km)	0.07
省エネルギー効果	鉛 (g/98年比)	低減 (1/3以下)
省エネルギー効果	水銀	低減量0.1
省エネルギー効果	カドミウム	低減量0.2
省エネルギー効果	アンモナイトウム	使用せず
省エネルギー効果	リサイクルし易い材料を使用した部品 (TSOP)	フロントバンパーカバー、リサイクルバンパーカバー、インストルメントパネル、ビューガー・コンジョ
省エネルギー効果	樹脂、ゴム部品への材料表示	有り
省エネルギー効果	リサイクル材の使用 (シュレッダーダストをリサイクルした部品 RSPP)	ダッシュサイレンサー、フロアサイレンサーパッド

※1 一般家庭で使用している照明器具と同等のものを使用 ※2 家電製品と同様のワット率を使用

床下からタイヤ、回路1本にいたるまで。
プリウスには、環境を守るための技術が
隅々にまで宿っています。

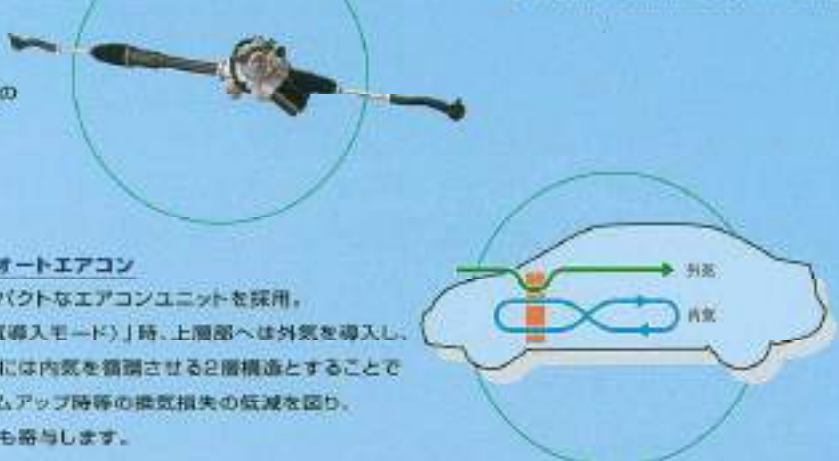
断熱ボディ

室内への熱の侵入を防ぐことによって、エアコンの消費電力の低減を図りました。フロントウィンドシールドガラスのほか、すべてのUVカットグリーンガラスに熱線吸収機能を持たせることで、太陽エネルギーの透過率を低減しました。



電動パワーステアリング

従来の油圧式よりも簡素化されたシステムによって、軽量化を実現。必要時しか電力を消費しないため、省れた燃費をもたらします。また、パワステギヤ比の採用によって操舵フィーリングの向上も図りました。



空力ボディ

コンピュータシミュレーションを駆使して、空気の流れがスムーズにいくアッパーボディ形状を実現。また、床下の流れもスムーズにするため、アンダーボディもフラット化を徹底。Cd値=0.30の優れた空力性能を獲得しています。

リヤスボイラー

空気抵抗を小さくする働きにより、高速走行時の燃費を向上させます。



ボディ多重通信

様々な電子制御ユニット (ECU) をつなぐネットワークに、ボディ多重通信システムを採用。回路1本の必要性まで徹底して見直し、さらなる軽量化を図りながら、信頼性も向上させました。



低燃費タイヤと軽量アルミホイール

こもり抵抗を低減したタイヤによって燃費向上に貢献。また、アルミホイールと樹脂カバーを組み合わせ、軽量化と先進的なデザインを両立させました。
※ 専用のホイールキャップはスーパースポーツロードスリック競技のホイールキャップ (「スライショッパ」) 用。

未来を志向したクルマの、 安全性への回答がここにあります。

私たちはこう考えます。クルマの進化とは、安全性の進化と共にあるべきだと。
自らに高い基準を設け、それを乗り越えることで
さらなる高みへと到達したプリウスの安全性。その追求に終わりはありません。

Active Safety

EBD^{※1}付ABS

ABSは急制動時や滑りやすい路面でのブレーキング時に、
コンピュータにより4輪の油圧を制御、タイヤのロックを防ぎ、
車両安定性と操縦性を確保します。

さらに、EBDはABSの油圧制御装置を用い、
車両走行状態に応じた適切な前後輪の制動力配分を行います。
これにより、後輪の制動力を有効に活用することができるように
なるため、特に積載時における制動力を軽減し、
優れたブレーキの効き性能を確保することが可能になります。
また、旋回中の制動時においても左右輪の制動力をコントロールして、
車両安定性を確保することにより、優れたブレーキの性能を実現します。

※1 EBD(電子制動力配分制御) (Electronic Brake Force Distribution)

※2 急ブレーキは危険を回避するための反射的な行為です。
それ以外は通常のブレーキ操作を行うようにしてください。

サスペンション

フロントにはL-アームマクファersonストラット式、
リアにはイーダビームサスペンション(トールコントロールリンク付+ショック=4本)
を採用し、乗り心地と操縦安定性を高いレベルで両立させました。
さらに、ボディへの振動伝達を緩和することでロードノイズを大幅に低減しています。



レインクリアリング機能付ドアミラー

ミラー面に付着した水滴を薄い膜状にするため、
雨天時の後方視界を良好に保ちます。



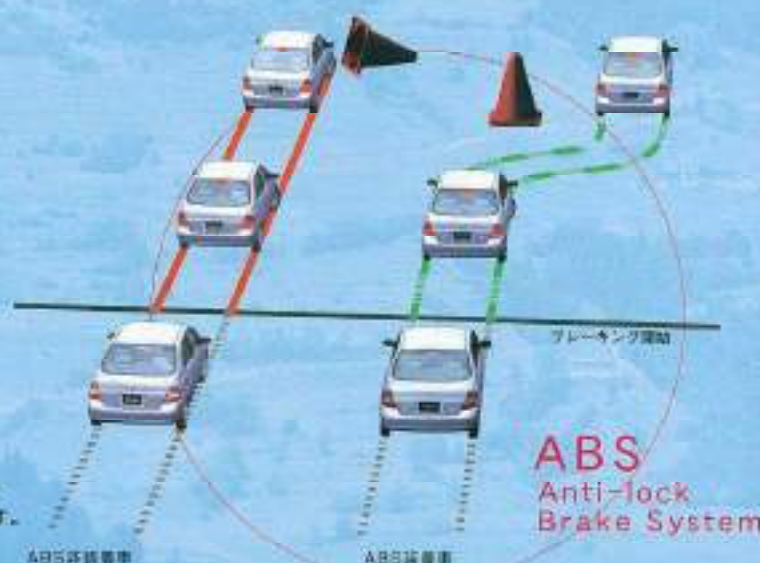
撥水機能付フロントドアガラス

ガラス面に付着した水滴を小さな水玉状にすることで、
雨天時の視認性を確保します。また、結露、氷結の防止に
効果がある他、霜や汚れも落とすしやすくなります。



ハイマウントストップランプ

後方からの衝突をできるだけ回避するために、
後視の運転者の目の高さで点灯するハイマウント
ストップランプで、被視認性を高めています。



Passive Safety

衝撃吸収ボディ&高強度キャビン "GOA" ^{※2}

衝突時の衝撃荷重をできる限り吸収すると同時に、
衝撃荷重をボディ骨格全体に効果的に分散。
キャビンの変形を最小限に抑え、乗客空間をしっかりと
確保します。さらに、プリウスはより重量のある車両との衝突、
より速い速度での衝突を想定して、オフセット前面衝突試験を
60km/hから64km/hに、フルラップ前面および
側面衝突試験を50km/hから55km/hに
それぞれ速度を上げて実施。世界でもクラストップレベル^{※3}の
乗員保護性能を実現しています。

※2 GOA(Global Outstanding Assessment)世界トップレベルの安全性評価という意味。

※3 同種重量クラスでの比較。



※写真は実車用試作車です。



デュアルSRS^{※4}エアバッグ

デュアルSRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。
必ずシートベルトをご着用ください。デュアルSRSエアバッグは
万一の事故の際、前方からの強い衝撃に対して作動し、
シートベルトの働きとあわせて、運転席・助手席乗員の
頭や胸の重大な傷害を軽減します。なお、SRSエアバッグは
衝突時の衝撃が弱い場合は作動しません。

※4 SRS(乗員保護補助装置) (Supplemental Restraint System)

※5 ファイバーストシートなどを助手席に設置する時は、後ろ向きにしないなど
ご注意ください。詳細は必ず取扱説明書をご覧ください。

※6 写真は機体説明のためにSRSエアバッグが作動した状態を再現したものです。

頭部衝撃緩和構造

万一の事故の際、乗員が客室と2次衝突する可能性にも配慮して、
フロントビラー、センタービラーの内部やルーフサイドレール部には、
衝撃を吸収する構造や素材を採用して、乗員の頭部への衝撃を軽減します。



プリテンショナー&フォースリミッター付フロントシートベルト

フロントシートベルトには、前面衝突時にシートベルトを瞬時に巻き取り、
乗員の拘束効果を高めるプリテンショナーと、
シートベルトへの荷重を規定値に維持することで胸部への衝撃を
緩和するフォースリミッターを採用しました。

※プリテンショナーは衝突時の衝撃が弱い場合は作動しません。



チャイルドシート
(ISOFIX対応車用)



ベビーシート
(ISOFIX対応車用/
後ろ向き向き付はタイプ)

ISOFIX対応チャイルドシート固定専用バー

リヤシートバックと座面との間にISOFIX対応の
チャイルドシート固定専用バーを設定。ワンタッチでチャイルド&ベビー
シート^{※5}が設置でき、しかも確実に固定する安全かつ利便性の高い装置です。

※5 ISOFIXの認可を受けたチャイルド&ベビーシートのみ。

※チャイルドシートとベビーシートは販売店設置オプションです。
なお、ご使用に関しては、ご注意ください。必ず取扱説明書をご覧ください。
また、ISOFIX対応車以外のチャイルド&ベビーシートは
従来の方法での固定となります。
詳しくは販売店におたずねください。

人の動きを究めた機能や装備を有し、
多彩な情報を提供する。
このクルマには英知があります。

センターメーター(デジタルスピードメーター)

インストルメントパネルの中央前部に
デジタル表示のメーターを配置。
上下・左右の視線移動、前後の焦点移動が
小さく、視認性に優れています。
メーター表面には無反射処理コート*1
を採用しています。

*1 反射率は約0.1%。
* 写真の針目線は撮影時のために消去したものです。
実際の走行状態を示したものではありません。



①対エンジン・エンジンブレーキ・エンジン
エンジンブレーキ付必要時場合にのみ表示。

②P/N/Dレバー位置。

③P/N/Dレバー位置。

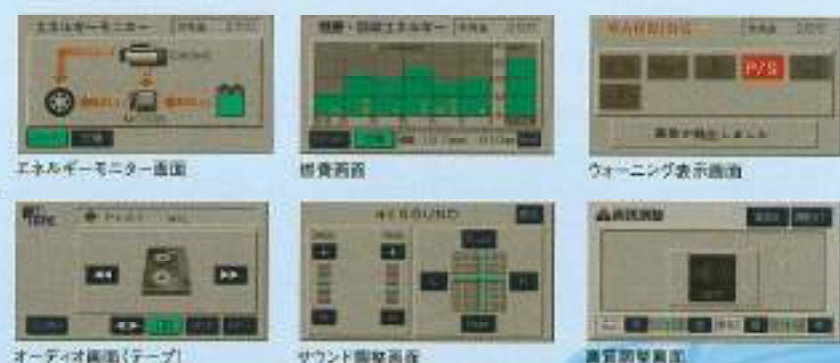
④プリウスのメーター位置

⑤従来のメーター位置

賢いプリウスの「情報センター」、 EMV(エレクトロマルビジョン)*

プリウスの知性の象徴ともなるのが、
5.8インチワイドEMV(エレクトロマルビジョン)。
走行状態から外気温、オーディオ、ナビゲーション、
テレビ*2の操作状況にいたるまで様々な情報を表示し、
タッチパネルで簡単に操作を行うことができます。
例えば走行状態の表示では、運転中の
エネルギーの流れや、燃費の良い走りをしているか
どうかをリアルタイムでやさしく教えてくれます。
任意の区間の通算燃費も測定できます。

*2 TV放送を受信する場合は別途販売のオプションのTVチューナー、TVアンテナ(ポールタイプ)が必要となります。また、TV放送は安全のための走行中はTV映像は見え、音声は聞こえます。



DVDボイスナビゲーション*3

FM多重放送受信*4、VICS*5受信やトヨタ情報通信
システム・モネ*6への接続などの拡張機能にも対応
します。

*3 ナビゲーションは安全のため走行中は一部操作できない機能が
あります。*4 FM多重放送受信は、局次、放送情報、放送情報、放送情報
情報に限り、走行中も受信できます。放送情報の受信によっては異なる場
合があります。その他の情報は安全のため走行中は受信されません。
*5 VICS(道路交通情報通信システム)はサービス地域が限られてい
ます。VICSによる交通情報の地図上への表示は、今後サービス地域
が拡大された場合に、その対象地域で一部表示されない情報があります。
また、提供情報の変更等により、一部の情報が表示されなくなる場合
があります。予めご了承ください。その場合、対応のナビゲーションソフト
で購入いただくことで、より正確な情報を表示することが可能となり
ます。詳しくは販売店におたずねください。なお、VICS受信には、
販売店装着オプションのVICSシステムが必要となります。*6 トヨタ
情報通信システム・モネ(MONE: Mobile Network)のご利用には、
モネ対応ナビゲーション・モネ対応ハンズフリーセット(販売店装着オプション)、携帯電話(デジタル900MHzあるいはcdmaone 1.4.4kbps)、モネへの入会(有料)が必要となります。
このシステムは、携帯電話の受信可能エリアであれば、全国どこでも受信可能です。詳しくは販売店におたずねください。



販売店装着オプション



MD-1体AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ
臨場感あふれる高音質を再現する先進の音楽システムです。



CDチェンジャーデッキ
(CH6T-D78)



MDチェンジャーB
(MHS-M118)

●この車にも販売店装着オプションとしてVICSシステム、
モネ対応ハンズフリーセットの設置があります。詳しくは販売店におたずねください。

新世代シート

フロントシートバックやクッションを、
より人の体にフィットする形状とし、
安定感と座り心地を高めました。
クッションと背もたれが一体可動する
シートリフターを採用し、
様々な体型の方に快適さを提供できます。
さらに万一の衝突時に備え、WIL*7(頸部障害低減)
コンセプトを取り入れたシート構造を採用しています。

*7 WIL(頸部障害低減): Whiplash Injury Lessening



サイドウォークスルー*8

足踏み式パーキングブレーキや、
自然な操作感を実現したコラム式シフトレバーの採用によって、
運転席・助手席間のウォークスルーを可能としました。

*8 走行中は運転しないでください。

ラゲージスペース

ハイブリッド専用バッテリーの小型化により、充分な広さ、
奥行きを持つラゲージスペース*9を実現しました。

*9 容量: 902 L (VDA法)



6:4分割可倒式リヤシート

レジャー用品など、
長い荷物を載せる際に便利な
トランクフル機能付の
6:4分割可倒式リヤシートを
採用し、使用性を高めました。



オートエアコン

花粉を除去し、運転中における
花粉の悩みを軽減するクリーンエアフィルターや、
リヤ席の空調機能をもつリヤヒーターダクトの
採用など、快適な運転環境を提供する機能に
あふれています。



クルーズコントロール

高速道路のドライビングなどで、アクセルの
無駄な操作を防ぎ、ハイブリッドシステムの
能力を引き出すとともに、イージードライブを
楽しむことができます。



チルトステアリング

チルトレバーノブの位置を
コラムカバー奥面に配置し、
操作性を高めました。



合理的なパッケージングに、
これだけの機能と収納スペースを装備。
乗る人思いの、プリウスです。



本革巻き
3本スポークステアリングホイール
(Sに標準装備)



本革巻きシフトレバーノブ
(Sに標準装備)



ワイヤレスドアロックリモートコントロール
(電波式・キー一体タイプ、アンサーバック機能付き)
*ロック及びアンロック時にハザードランプが点滅します。



リヤセンターアームレスト



フロントパーソナルランプ



パワーウィンドウ
(運転席ワンタッチ式・挟み込み防止機構付)
&木目調スイッチベース(ダークグレー)



フタ付マルチボックス
(Sに標準装備)
*販売店オプションの1DINオーディオ用品を
装着した場合、設置はできません。



大型コンソールボックス
(カップホルダー&
シークレットボックス付)



カップホルダー



グローブボックス



シートバックポケット
(運転席・助手席)



ドアポケット(運転席・助手席)

プリウス ウェルキャブ



助手席回転シート&
手動車いす用収納装置



ワンモーション操作でスムーズな乗り降りを実現。

シートロック解除レバーを手前に引いてロックを解除し、シートを回転させます。元の位置に戻す時は、シートロック解除レバーを手前に引いた状態で、押し込みながらシートを回転させます。



シートロック解除レバーを手前に引いてロックを解除します。[手動]



シートを回転させます。[手動]
[シートがロックするまで回転はできません。]

Photo:プリウス ウェルキャブ。助手席回転シート仕様。ボディタイプ(ベース車両はZA-NHW11-JE200)。ボディカラーはダークグリーンマイカ(1894)。*特装価格付加するは別途メーカーオプション。



トヨタウェルキャブ総合展示場

トヨタハートフルプラザ 東京

●営業時間:午前10:30~午後7:30
●定休日:毎週水曜日(祝日の場合は翌日)
〒118-0001
東京都荒川区東日暮1-20-12 日暮里駅前ビル3階
TEL 03-3332-3811
FAX 03-3332-3841

トヨタハートフルプラザ 神戸

●営業時間:午前10:00~午後6:00
●定休日:毎週水曜日(祝日の場合は翌日)
〒650-0003
神戸市中央区東川崎町1-3 三井ビルディング3階
TEL 078-366-1818
FAX 078-360-0399

トヨタハートフルプラザ 福岡

●営業時間:午前10:00~午後7:00
●定休日:毎週月曜日
〒812-0002
福岡市東区東区1-58 三井ビルディング3階
TEL 092-477-6187
FAX 092-415-2723

ホームページ
<http://www.toyota.co.jp/heartful>

■プリウスウェルキャブは特装車(TECS)のため、持ち込み登録となります。詳しくは各販売店までご確認ください。

販売店装着オプション



ウッド調パネル



スカッフプレート(ステンレス)



フロアコンソール



フェンダーランプ(電球リモコン付)



コーナーセンサー(ボイス4センサー)



フロントスポッツ



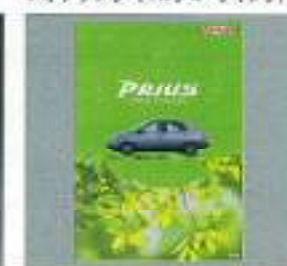
フォグランプ(マルチコーティング)



革調シートカバー



フルシートカバー



プリウス用パンフレット

■この他にも多数の販売店装着オプションを用意しております。詳しくはプリウス用品パンフレットをご覧ください。
■販売店装着オプションには、グレード・オプションなどによって装着できない場合があります。詳しい設定につきましては、販売店におたずねください。

詳しくは！
www.toyota.co.jp/Pru

この広告に関するお問い合わせは、
お近くのプリウス教習所・販売店
または下記のお客相談センターへ

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーフォン ☎0070-800-778899

所在地 〒461-8711 名古屋市中区東一丁目20の22
オープン時間 月曜～金曜（除く祝日）
9:00～12:00 13:00～17:00

スピードはひかえめに。シートベルトやチャイルドシートを忘れずに。

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。 TOYOTA

本に描かれた、想像力や才能は生まれながらのものであり、これらは必ずしも年齢や性別、国籍や能力によって決まるとは限りません。また、インターネット上でも環境に配慮した再生紙を使用しています。

100%再生紙